

1. 件名：「日本原燃株式会社におけるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋  
第1排風機Vベルト脱落事象に関する面談」

2. 日時：令和2年1月16日（木）13：30～14：50

3. 場所：原子力規制庁 2階B会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、関主任監視指導官、滝吉室長補佐（検査評価室）、  
白井上席監視指導官、福吉主任監視指導官

日本原燃株式会社

東京支社 技術部 部長 他3名

5. 要旨

日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）におけるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋で発生した第1排風機Vベルト脱落事象に関して、来年度から実施する新検査制度に基づく対応の試運用として、当該事象に関する「安全重要度・対応措置評価会合」（以下「SERP」という。）を模擬的に実施するための必要な情報を入手するため、以下の内容について面談を実施した。

（1）模擬SERPを実施するにあたり、当該設備に設計上求められている要件、所定の機能を発揮するための最低限の系統構成、当該系統が機能喪失場合に影響を受ける設計想定事故、放射性物質を含む気体等が漏えいするメカニズム及び発生するまでの時間等について、日本原燃から配付資料に基づき説明があった。

（2）原子力規制庁から以下について追加質問をし、別途回答頂くこととした。

- ・排風機、水素掃気設備が全て停止した場合、その後一番懸念される事象は何か。
- ・その事象が水素爆轟であれば、懸念される状態に至るまでの時間的な裕度はどの程度か。
- ・上述懸念される事象の時間的裕度について、操業中と現状停止中のそれぞれについて評価すること。

6. その他

配付資料

○「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における排風機BのVベルト脱落」事象の  
想定リスクについて

－以上－